

NEWS RELEASE



2019年9月20日

日本財団
株式会社セブン・イレブン・ジャパン

日本財団 × セブン-イレブン 沖縄県内の店舗に『ペットボトル回収機』を設置 ～沖縄県内のコンビニ初 2019年9月20日から順次設置～

日本財団（東京都港区、会長： 笹川 陽平）と株式会社セブン・イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長： 永松 文彦）は、相互の連携を強化し、“豊かで持続可能な社会”推進の一環として、2019年9月20日（金）より、沖縄県内のセブン・イレブン店舗（2019年8月末現在：17店舗）にて“ボトル to ボトル”的リサイクル促進を目的とした『ペットボトル回収機』を順次設置いたします。

セブン・イレブンでは、2017年より『ペットボトル回収機』の設置を開始し、現在東京都と埼玉県の316店舗（2019年8月末）で設置しております。このたび沖縄県でも、本取り組みの趣旨に賛同いただき、加盟店様のご協力のもと“ボトル to ボトル”的資源循環の仕組みを構築いたしました。

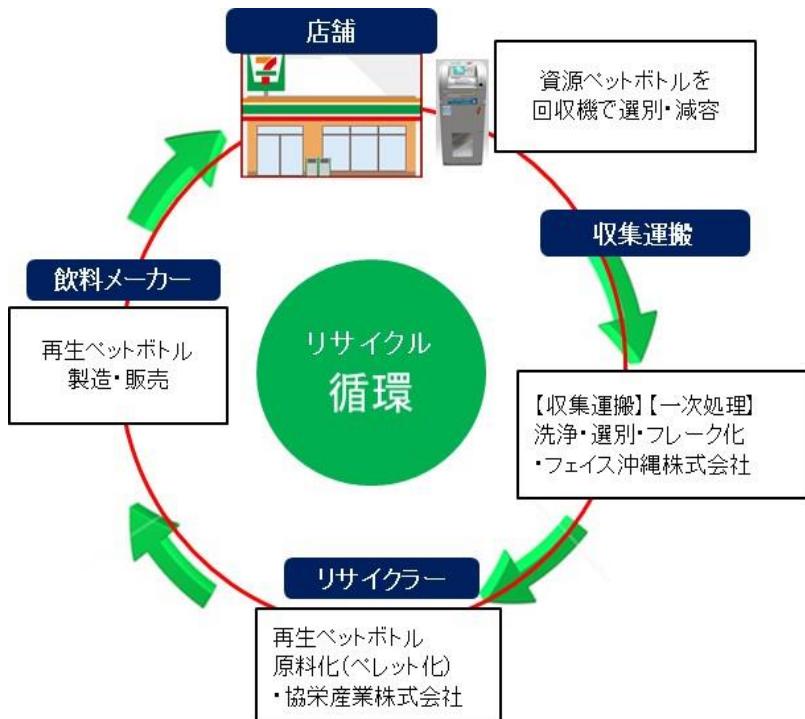
なお、今回の取り組みと併せて、セブン・イレブンと日本財団は、地域清掃等も積極的に行い、地域の皆様と共に、海洋ごみ対策やプラスチック対策を推進してまいります。

地域社会と一緒にしたサーキュラーエコノミー活動に取り組むことで、自然との共生を目指し、限りある資源を有効活用するとともに、沖縄県の目指す「豊かな自然環境に恵まれたやすらぎと潤いのある沖縄県」の実現に貢献してまいります。

※一部店舗を除く

<概要>

“ボトル to ボトル” 循環スキーム



【2者の役割】

- ・日本財団
セブン・イレブン店頭に設置するペットボトル自動回収機の費用の半分を拠出。
- ・セブン・イレブン店舗
回収機の設置、運用および回収資源の管理。
ペットボトルリサイクルの啓発。



【ペットボトル回収機】

開発メーカー：
株式会社寺岡精工

機械サイズ：
W650×D500×H1330

収容量：
ペットボトル約 280 本
※500ml ペットボトル換算

以上